

御本尊寫真帖

全

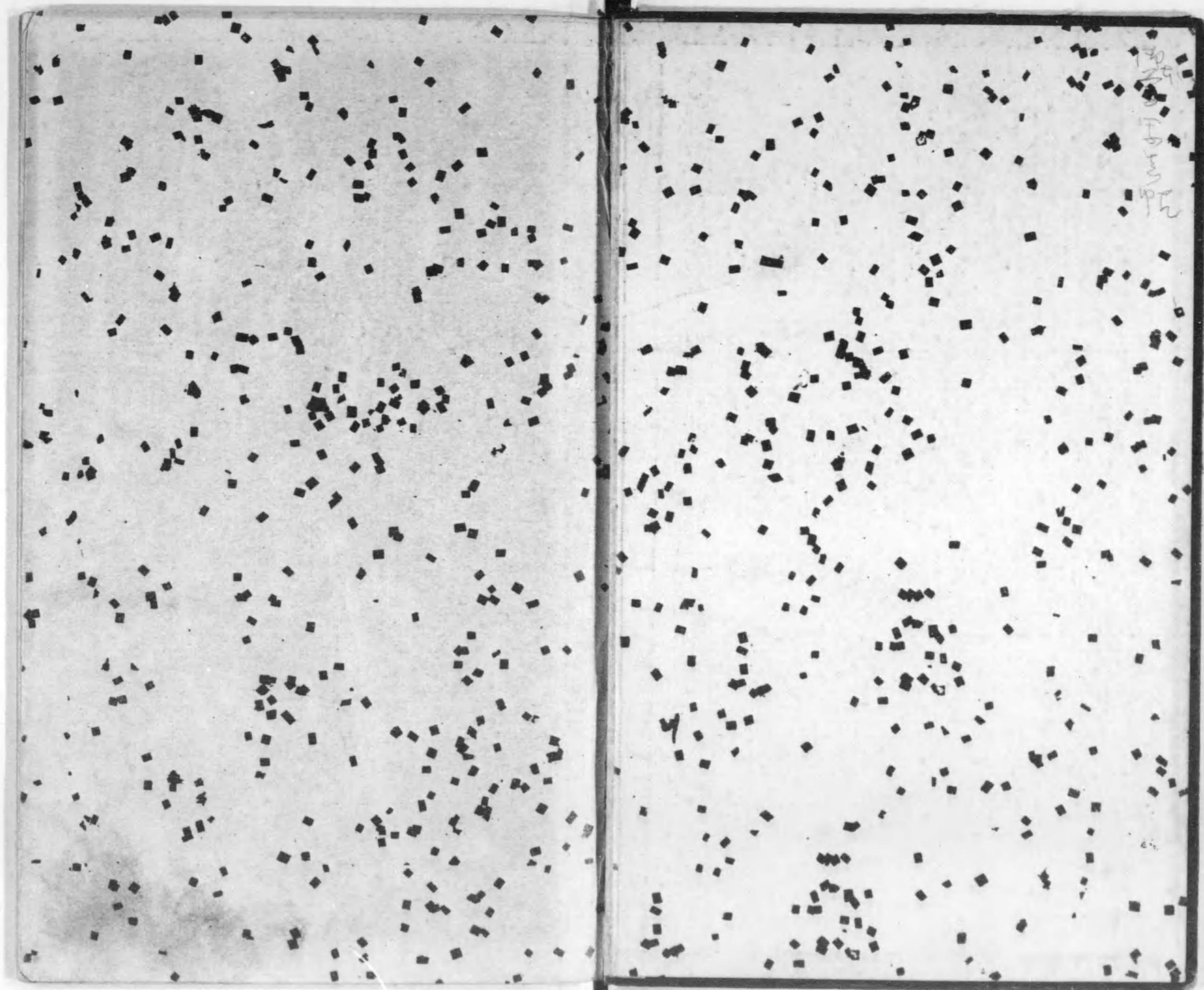
324

331

5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

始







Handwritten vertical text in cursive script, likely a signature or name.

Handwritten vertical text in cursive script, likely a signature or name.

Handwritten vertical text in cursive script, likely a signature or name.

Handwritten vertical text in cursive script, likely a signature or name.

Handwritten vertical text in cursive script, likely a signature or name.

Handwritten vertical text in cursive script, likely a signature or name.

Large, bold handwritten character, possibly '酒' (Sake).



本 來
尊 重

日蓮宗大學校長

大正元年十月 日蓮宗

御本尊寫真帖緣由

本化大聖所以出現末法之初者何曰在弘通別付之一大秘法而其法難信難解開示之為三曰日本門本尊曰日本門題目曰日本門戒壇是也如其題目則佐前後其異相不為難見然至本尊則或有返首題一或有添以文殊藥王等或有稱佐渡始顯或有建治弘安圖示是以甲論乙駁終莫知其所歸曩故文雅淵師刊行本尊寫真帖余亦同感今茲以暑暇歷訪西都本化各教團諸山得拜寫大聖人並六上足等真蹟今公刊之以資鑽仰之料賴據寫真師堀真澄及檀越松本光太郎君外護能得成此淨業尙進欲悉蒐集各教團之祕藏是予所豫期也若夫至真偽鑑識則待于具眼者而識焉

大正元年十一月

編者 虔記



高祖大聖人御肖像
筆者ハ明暦時代ノ有名ナル狩野永納、又讀ハ京都深草元政上人ノ親蹟ニシテ京都本宗大本
山妙顯寺ノ重寶ナリ



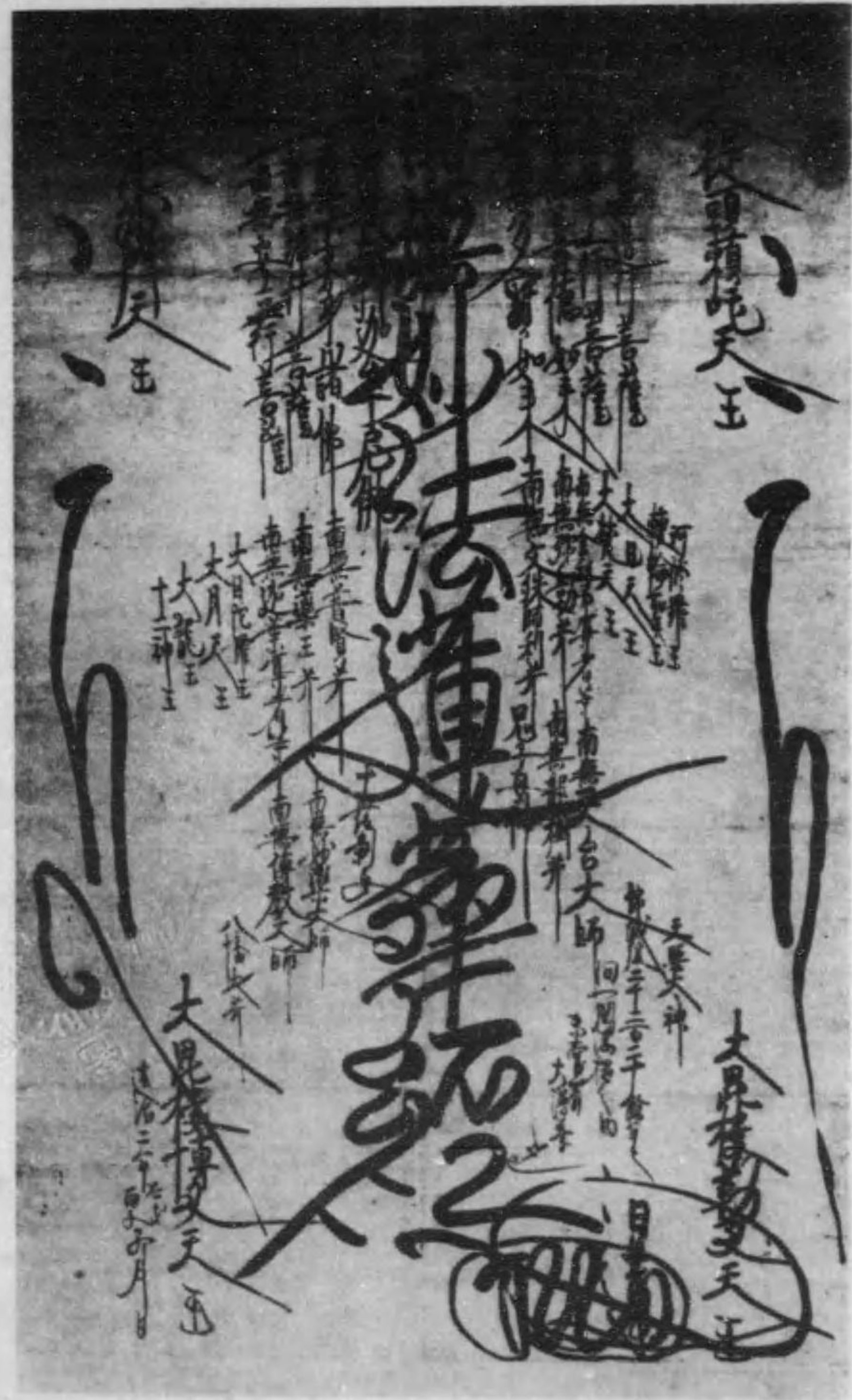
高祖大聖人御年五十即文永八年辛未十月十日佐渡ノ配地ニ遷ラセ給フ前日相州愛甲郡依智ノ郷本間重連(古記云今ノ星下妙純寺ハ者其跡也)ノ館ニ於テ楊枝ヲ以テ書シ給シ御眞蹟ニシテ京都本宗本山立本寺ノ靈寶ナリ、
 是實ニ聖祖佐渡御勸氣ノ記念ノ一大靈蹟ト謂ベシ、其授與者ハ未タ詳ニセス、彼本間重連ハ武藏前司朝直(領主)ノ臣下ニシテ祿ヲ佐州賀茂郡新穂ニ食ム、聖祖譎セラル、ヤ命ヲ承テ之ヲ守ル、其後聖祖ニ依テ改宗シ、永仁四年二月十九日歿ス

大聖人御年五十四即建治元年乙亥十二月身延山ニ於テ書シテ經一丸即日像上人ニ授與シ給タ
 ル旨傳法本尊ノ御眞蹟ニシテ京都本宗大本山妙顯寺ノ一大靈寶ナリ、別頭統紀十三十二云
 建治元年乙亥春二月父忠晴投ニ萬壽慶於朗尊者之室、朗尊熱視大奇、之曰、我師出世播ニ法於四海
 而有ニ緣ニ東壤ニ未レ及ニ帝都ニ我ニ無ニ思平、而今幸得ニ法器、他日振ニ我宗風、者必此之兒也、乃自
 携還上ニ身延山ニ高祖一見即謂是我弟子應弘、我法ニ摩頂慰誘乃示ニ旨於一紙、以爲ニ傳法之
 信、更ニ字呼ニ經一師時甫七歲、又元應二年正月三日肥後殿ヘノ日朗上人ノ御消息アリ併セ
 拜スベシ





此大聖人ノ御本尊ハ年代未詳恐ハ建治年代ノ御眞蹟ナルベシ、其紙質ハ鎌倉時代ノ畫唐紙ニ
シテ京都本宗本山本法寺ノ靈寶ナリ



大聖人御年五十五即建治貳年 丙子卯月身延山ニ於テ書シ給タル十枚續ノ御眞蹟ニシテ京都本宗
大木山本國寺ノ靈寶ナリ



大聖人御年五十七即弘安元年^{戊寅}七月五日、身延山ニ於テ書シテ御弟子日門ニ授與シ給タル御
眞蹟ニシテ京都本宗本山頂妙寺竹ノ内ノ本尊ト稱スル是ナリ、
日門上人ハ中老僧ノ隨一ニシテ常陸公ト稱ス、常陸行方郡築地村妙光寺及仙臺孝勝寺ヲ創立
シ、永仁四年^{丙申}七月二十日（或云嘉曆參年^{戊辰}十二月二十日）妙光寺ニ化ス、壽未詳、其傳統
紀十一十四ニ出ッ



大聖人御年五十八即弘安二年己卯六月身延山ニ於テ書シテ御弟子日家ニ授與シ給タル御眞蹟ノ
 寫ニシテ京都本宗本山頂妙寺ノ重寶ナリ、
 此御本尊ハ本下總正中山ノ秘藏ナリシテ先年盜マレタリ、然ニ幸ニモ正徳年中頂妙寺歴代眞
 如院等師輪番ノ際摸寫セラレタルヲ今回寫シタルモノナリ、
 日家上人ハ中老僧ノ一ニシテ寂日房ト稱シ、南總興津ノ人、姪ノ日保上人ト俱ニ小湊ニ一字
 ナ建立シテ高光山日蓮誕生寺ト號ス、師其二祖タリ、正和四年乙卯七月十日示寂年五十八、
 其傳統紀十一丁ニ出タリ



大聖人御年五十八即弘安二年乙卯六月身延山ニ於テ書シテ尊師日顯法師ニ授與シ給タル御真蹟
ニシテ京都本宗大本山本國寺ノ靈寶ナリ、今考ルニ此御本尊ハ恐ハ房州清澄山ノ住人ナル淨
顯房ニ授與シタルモノナルベシ、何トナレハ尊師ノ二字ハ法兄ニ對スル敬語ナルベク、日號
ノ顯ノ字ハ淨顯ノ顯ヲ取り、又歸伏ノ後子師弟ノ關係ヲ以テノ故ニ法師ト稱シ給ルナルベシ、
今暫ク愚見ヲ附シテ以テ世ノ識者ノ高見ヲ待ツ



大聖人御年五十九即弘安參年庚辰貳月彼岸第六番身延山ニ於テ書シテ藤原清正ニ授與リ給々
ル三枚續ノ御眞蹟ニシテ京都本宗本山妙覺寺ノ靈寶ナリ



大聖人御年五十九即弘安參年庚辰貳月身延山ニ於テ書シ興上足ノ申立ニ依テ之ヲ富士下方熱
原六郎吉守法名日安ニ授與シ給タル御眞蹟ニシテ京都本宗本山妙覺寺ノ靈寶ナリ

129

大聖人御年五十九弘安參年庚辰參月身延山ニ於テ書シテ沙彌日戴ニ授與シ給タル御眞蹟ニシ
テ京都本宗本山本法寺ノ靈寶ナリ





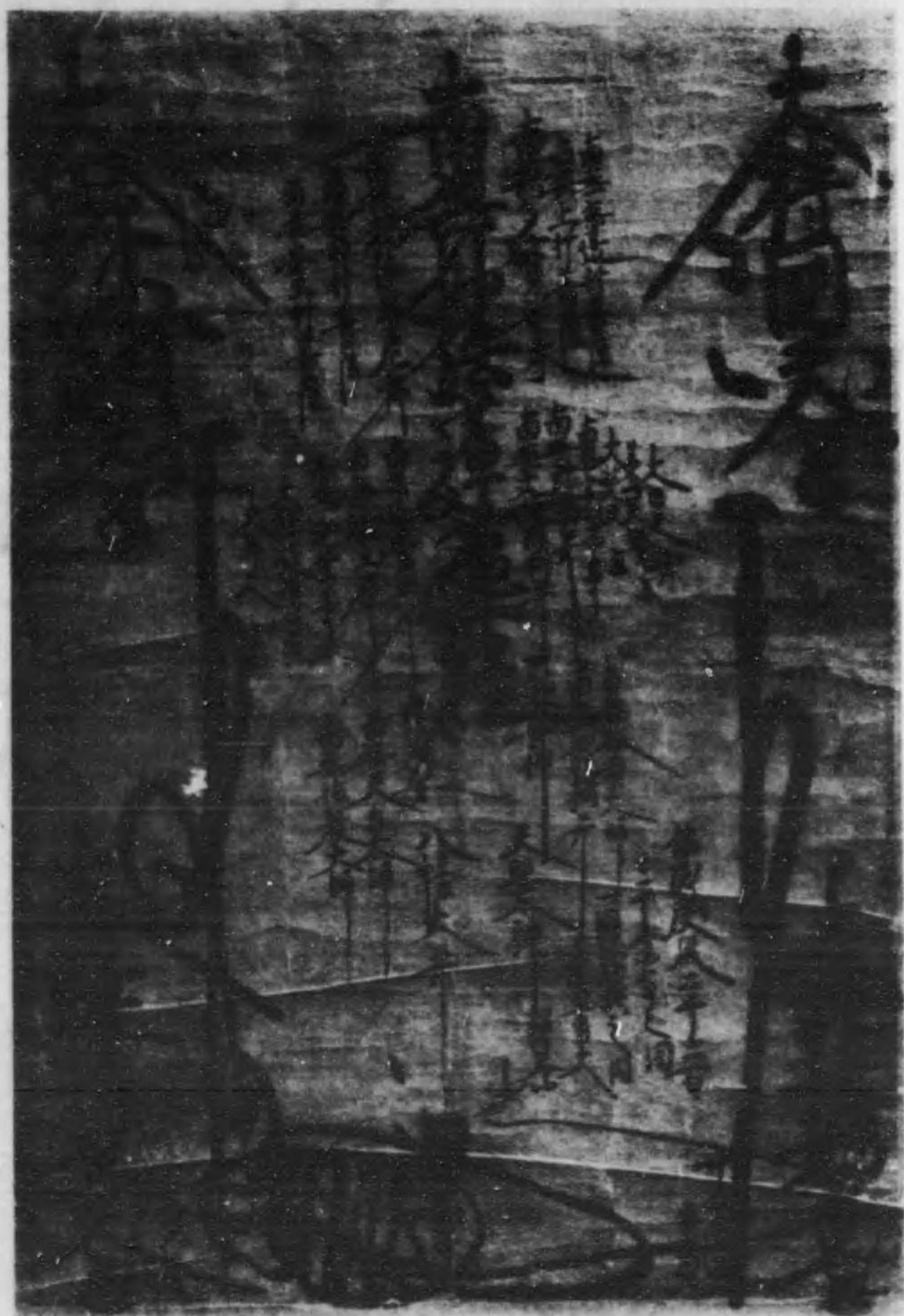
大聖人御年五十九即弘安參年四月身延山ニ於テ書シテ日嚴尼ニ授與シ給タル御眞蹟ニシテ京
都本宗大本山妙顯寺ノ三幅對ノ一靈寶ナリ日嚴尼ハ別頭統紀二十四丁廿云駿河富士郡西山高橋
入道ノ妻、深ク高祖ヲ信セシ故ニ此法號ヲ賜ト、



大聖人御年五十九即弘安參年四月拾參日身延山ニ於テ書シテ盲目乘蓮ニ授與シ給シ御眞蹟ニ
シテ京都本宗大本山本國寺ノ靈寶ナリ
今考ルニ彼盲目乘蓮トハ恐ハ富士西山本門寺所藏ノ日興上人ノ御記録ニ據ルニ淨土宗鎌倉光
明寺開山然阿ノ弟子ナル行敏ナルベシ。若シ其レ行敏トセハ彼謗法罪ニ由テ現在ニ盲目トナ
リ、終ニ高祖ニ歸伏セルカ、暫ク愚見ヲ附ス



大聖人御年五十九即弘安參年六月身延山ニ於テ書シテ俗藤原國貞法名日中ニ授與シ給タル御眞蹟ニシテ京都本宗本山本法寺ノ靈寶ナリ



大聖人御年五十九即弘安參年九月身延山ニ於テ書シテ興上足ノ御申立ニ依テ因幡國富城寂仙
房日澄母尼ニ授與シ給タル御眞蹟ニシテ京都本宗本山妙覺寺ノ靈寶ナリ
此御本尊ノ右ニ因幡國富城寂仙房日澄母尼弘安參年九月申立之ノ廿一字ト右ノ可爲本門寺重
寶也ノ八字ハ並ニ興上足ノ御筆ナリ、又因幡等トハ因幡富城郷ノ郷主富城常忍ノ子息ナル寂
仙房日澄上人(富士重須本門寺大學頭)ノ母尼即妙常尼ナリ、本門寺トハ重須ノ本門寺ナルベ
シ。



大聖人御年六十一即弘安五年壬午四月身延山ニ於テ書シテ御弟子天目上人ニ授與シ給タル御
眞蹟ニシテ京都本妙法華宗總本山木隆寺ノ靈寶ナリ
天目上人ハ美濃阿閉梨ト稱シ伊豆波多郷ノ人ニシテ熱原甚四郎（弘安二年ノ熱原法羅ノ爲ニ
殺サレタルモノ）ノ孫ナリ、佐野妙顯寺及品川妙國寺ノ開山、延元二年乙丑四月二十六日常
州水戸修多羅寺ニ化ス具ニハ統紀十一ノ廿三ノ如シ

大聖人御年六十一即弘安五年壬午四月身延山ニ於テ畫キ給シ小寶塔ノ御寫ニシテ京都本宗本山頂妙寺ノ重寶ナリ、
 高祖年譜攷異下四十五云畫寶塔會 在中山、國字傳曰、寶塔會ノ圖有大小二幢、大者大藏所畫、小者大士自圖ス、統紀二幢共爲大士作、以係文應元年、者誤、萬寶全書曰、日蓮上人圖寶塔會、筆法極妙而不見他畫、獨寶塔會圖傳、彼家、
 私云寶塔會ノ繪曼荼羅ハ大中小ノ三幢アリ、其中大小ノ二寶塔會ハ先年中山ニ於テ賊ノ爲ニ盜セラレ、今中寶塔會ノミ京都本法寺ニ存セリ、



蓮祖大士御自畫之寶圖 正中山法華經寺大寶

正徳元年七月十日

心之石乃而持之香輪

六老僧給仕第一日朗上人御年六十二即徳治參年七月十三日講衆中授與ノ御眞蹟ニシテ京都本
宗本山立本寺ノ靈寶ナリ



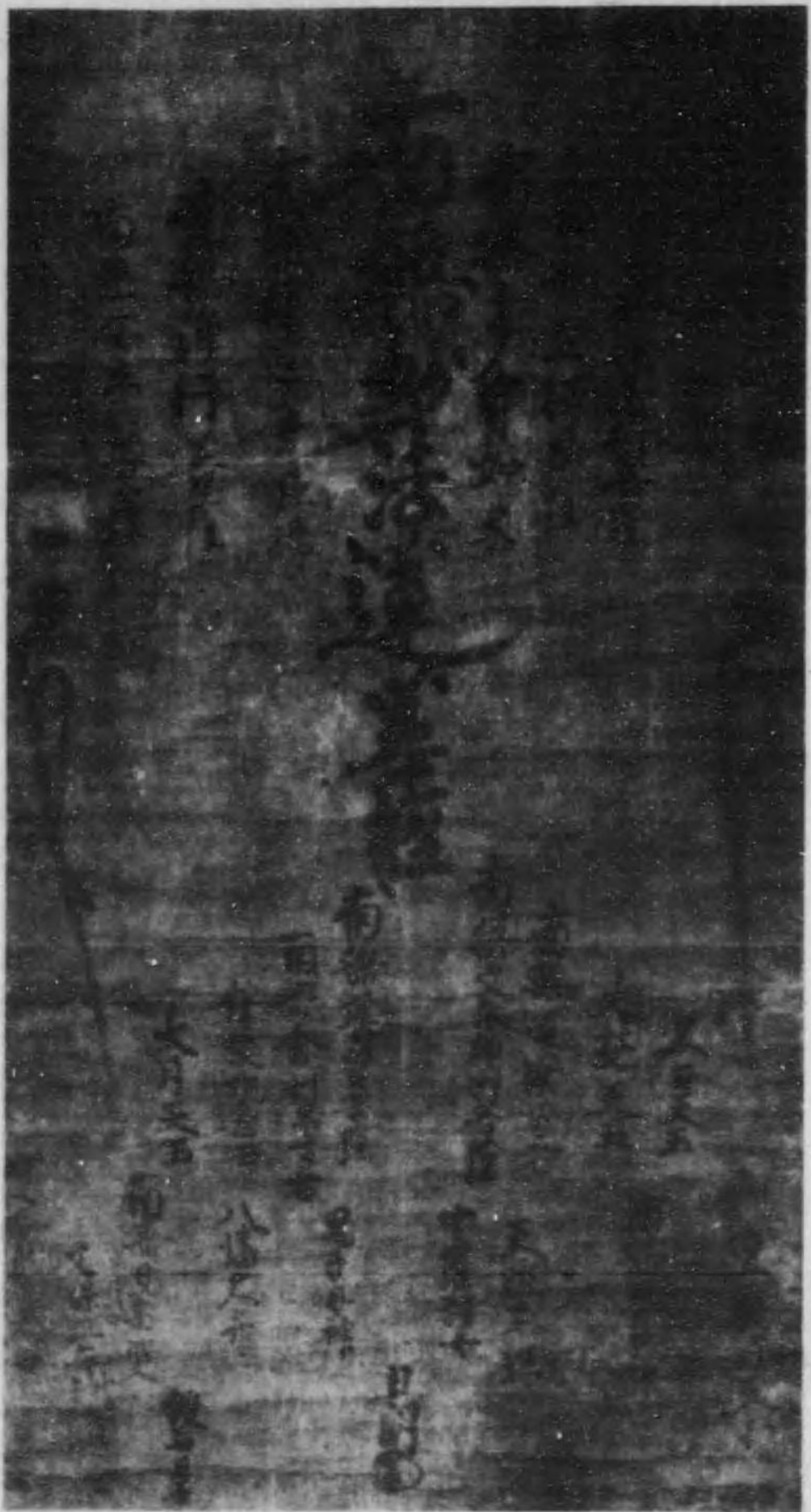
六老僧日朗上人徳治參年七月十五日即御年六十二ノ御眞蹟ニシテ京都本妙法華宗總本山本隆寺ノ靈寶ナリ
上人筑後公ト稱シ大國阿閉梨ト號ス、下總葛飾郡平賀ノ人、比企谷、池上、平賀ノ三長三本及京都本國寺ノ開山、元應二年正月廿一日化ス、壽七十六、傳ハ統紀九ノ十七ニ出ツ

正中山第二祖中老僧日高上人御年五十即嘉元四年八月十日參日源家次へ授與ノ御眞蹟ニシテ京
 都本宗本山本法寺ノ靈寶ナリ
 上人帥阿闍梨ト稱シ、宗祖三大檀那ノ一ナル大田乘明上人ノ長子ナリ、正和參年四月廿六日
 化ス、壽五十八、傳統紀十一ノ十六紙ニ出タリ





九老僧ノ上首日像上人御年五十一即文保參年參月廿七日御弟子妙實ニ授與所謂傳法本尊ノ御
眞蹟ニシテ京都本宗本山妙覺寺ノ靈寶ナリ



六老僧日朗上人御年七十四即文保參年七月參日九老僧日善上人授與ノ御眞蹟ニシテ京都本宗
大本山妙顯寺ノ靈寶ナリ
日善上人ハ大法阿闍梨ト稱シ北條義澄ノ孫ニシテ朗上足ノ弟子ナリ、常州安中山大法寺ノ開
山、元弘貳年九月廿二日武州碑文谷法華寺ニ化ス、壽七十



九老僧日像上人御年六十二即嘉曆四年参月十六日ノ御眞蹟ニシテ京都本宗大木山妙顯寺ノ靈
寶ナリ



九老僧日像上人御年六十九即建武癸亥年十一月拾參日ノ御眞蹟ニシテ京都本妙法華宗總本山本
隆寺ノ靈寶ナリ



九老僧日印上人御年六十二即正中貳年拾貳月參日田中彌四郎藤原國宗法名日宗授與ノ御眞蹟
ニシテ京都本宗大本山本國寺ノ靈寶ナリ
上人摩訶一院ト號ス、越後三條ノ人、永仁貳年嗣尊者ノ弟子トナル、時二年三十一、本國寺
ノ三世、並ニ本成寺開山、嘉曆參年十二月二十日化、壽六十五、傳ハ統紀十三ノ十二紙ニ出
タリ

本隆寺初祖日眞上人御年八十一即大永四年拾月拾參日俗名小五郎授與ノ御眞蹟ニシテ京都本
 妙法華宗總本山本隆寺ノ靈寶ナリ
 上人嘗不輕院ト號ス、中山中納言親通ノ子、但州妙境寺日全上人ノ弟子、顯山ノ具師及蓮山
 ノ忠師ト時ヲ同ス、享保元年參月廿九日化ス、年八十五、傳慧光山傳燈錄ニ出タリ





本法寺開山久遠成院日親上人御年三十四即嘉吉元年參月權宗破拆ノ結果足利義教ノ爲メニ獄
中ニ投セラレ、同年五月廿九日獄中ニ在テ築瀨三河守胤兼ノ爲メニ楊枝ヲ以テ書シ給ヘタル
御眞蹟ニシテ京都本宗本山本法寺ノ靈寶ナリ、
上人世稱シテ鍋冠親師ト云フ、上總武射郡地谷村ノ人、中山五祖日蓮上人ノ弟子、廿一歳ノ
時初テ上洛弘通ス、爾來天下ヲ諫争スルコト八回、他宗ト對論スルコト六十六回實ニ不惜身
命ノ大導師ナリ。長享貳年九月十七日化ス、壽八十二

大正元年十二月廿四日印刷
大正元年十二月廿六日發行

正價金壹圓六拾錢

嚴禁轉載
不許複製

發行人 兼 編輯人 稻田海素
東京市芝區二本板圓真寺

攝影人 堀真澄
京都市寺町通高辻北入四十三番戶

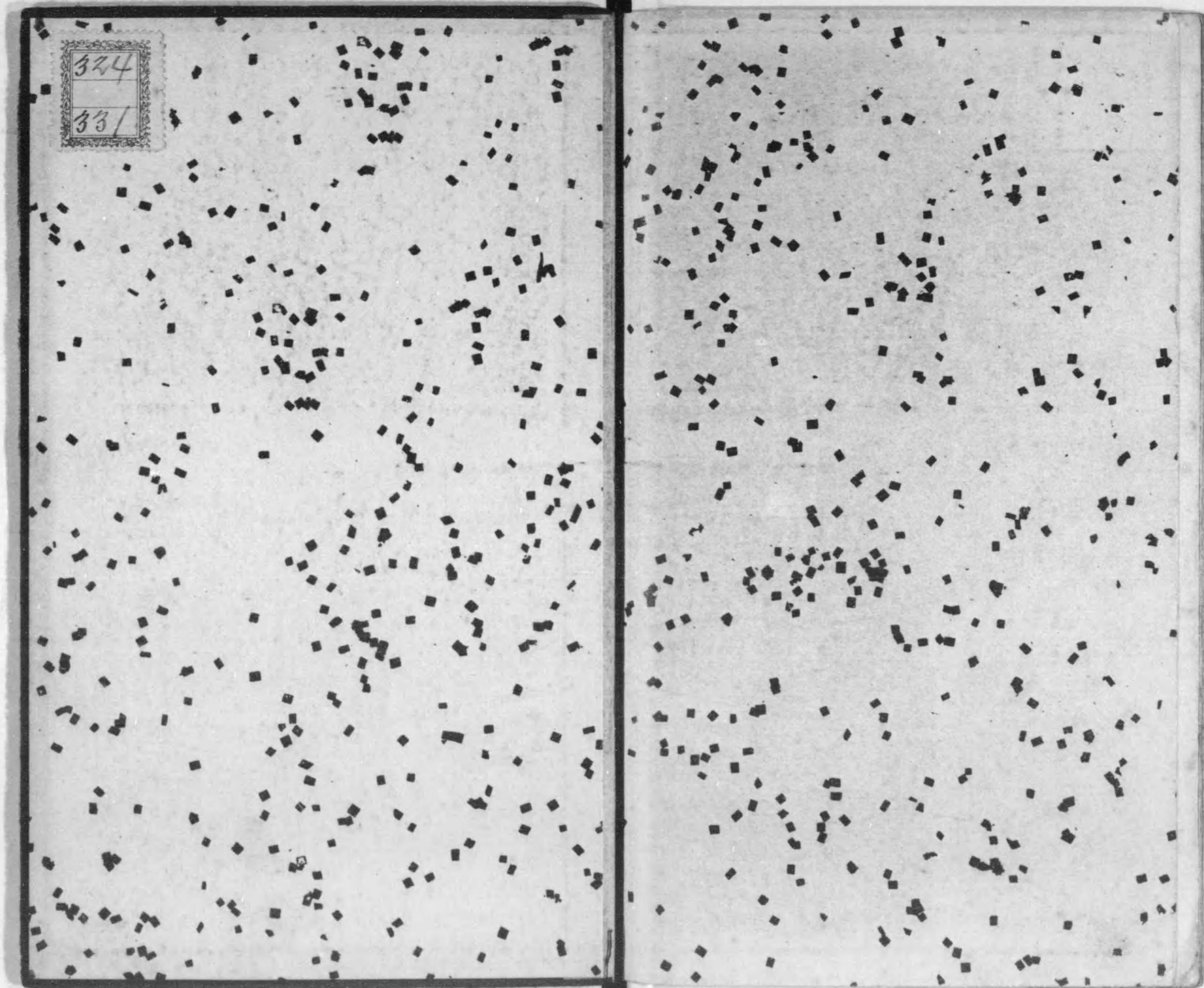
印刷所 文祥堂印刷所
東京市京橋區新榮町一丁目廿一番地

印刷人 佐藤保太郎
東京市京橋區新榮町一丁目廿一番地

東京市京橋區疊町十七番地

發行所 須原屋書店

324
331



終

